

**令和6年第2回 岩沼市議会定例会  
一般質問(個人)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
3	3	大 村 晃 一	<p><b><u>こども・子育て支援パッケージについて</u></b></p> <p>1. 保育料の第2子以降無償化について</p> <p>(1) 令和6年度の予算額が示されたが、何名分を想定している額なのか伺う。</p> <p>(2) 第2子以降が無償化になることは非常に良いことだが、同時に本市の保育園の一時預かり受入れ可能な年齢の拡大や人数等の体制整備も必要だと考えるが、どのように考えているのか伺う。</p> <p>2. 保育所と放課後児童クラブに導入するアプリについて</p> <p>(1) 導入はいつ頃の予定になるのか伺う。</p> <p>(2) どのようなアプリを導入する予定なのか伺う。</p> <p>(3) 段階を踏んで、小中学校での導入も検討してはどうか伺う。</p> <p>3. ハナトピア岩沼リニューアルについて</p> <p>(1) 今回のプロポーザルでの事業者選定において、決め手となった一番の要因は何だったのか伺う。</p> <p>(2) 今後計画を進めて行く上で、現在示された内容から変更や追加も考えられると思うが、これまでの利活用検討委員会などを踏まえて本市として、「ここは譲れない、力を入れて行きたい」と思う部分はどこか伺う。</p> <p>(3) 地域との連携を図っていく上で、どのようなことを現段階で考えているのか伺う。</p> <p>4. 新たなパッケージとしての取組について</p> <p>(1) 子育て世代等が空き家を改修して移住をする場合の奨励金を設けたり、工事等の際に地元の事業者を活用した場合にはさらに上乗せして補助金を出すなど、人口増加に加え、空き家対策や地域振興策も踏まえた新たな制度を新設して、子育て世代の移住定住促進を図る子育て支援を行ってはどうか伺う。</p>	市 長 教育長
			<p><b><u>岩沼市民会館・中央公民館等駐車場の適正管理について</u></b></p> <p>1. 適正管理の手法選択について</p> <p>(1) 駐車場の適正管理を行うために、一部の受益者負担などを求める有料化の手法を選択した理由を伺う。</p>	市 長 教育長

(続)	3	大 村 晃 一	<p>(2) 適正管理を行うために、有料化以外の手法の検討等を行ったのか伺う。</p> <p>(3) 有料化の手法を決定する過程について</p> <p>① 有料化の手法を用いるためには、現状把握等の意味合いも含め、現在各施設を利用している方々からも意見を聞かなくてはならないと考えるが、どの程度の団体から話を伺ったのか。</p> <p>② 各施設利用者と施設利用をしない方の駐車場の利用者割合の比率はどのように見込んでいるのか伺う。</p> <p>③ 今回の手法を用いることで、貸付料として年間で約1,200万程度の収入となるメリットもあるが、デメリットについてはどのように考えたのか伺う。</p> <p>2. 今後について</p> <p>(1) 先日の駐車場の利用方法説明会では、利用者や市民からは十分な理解を得られていないと感じたが、今後どのような説明を行っていくのかを伺う。</p> <p>(2) 利用者や市民への説明や周知にもう少し時間をかけて要望等を精査し、運用開始時期の見直しを検討することで、利用者や市民の理解につながるのではないか。</p> <p>(3) 駐車場有料化がスタートした場合、利用者や市民が納得しながら適正管理を続けていけるように、利用状況等の調査を行いながら、半年毎など定期的な内容の検証、見直しも行っていくべきではないかと考えるが見解を伺う。</p>	市 長 教育長
4	8	大 友 健	<p><b>市民会館駐車場の有料化について</b></p> <p>1. 2月7日の説明会について伺う。</p> <p>(1) 説明会の空気をどう受け止めたか。</p> <p>(2) 聞き置いただけか。</p> <p>(3) 今の計画は昨年11月下旬の方針の修正ではないのか。</p> <p>(4) 今後、新たな説明会などは予定しているか。</p> <p>(5) 減免の対象枠は広げたのか。</p> <p>(6) 減免で無料となる3時間枠は5時間などに延長とはならないのか。</p> <p>(7) 4月1日実施にこだわるのか。</p> <p>(8) 市民の理解を深める必要があるのではないか。</p>	市 長 教育長

(続)	8	大友 健	<p>2. 受益者負担について</p> <p>(1) 公共施設はそもそも、維持管理に金がかかるものではないのか。</p> <p>(2) 適正管理が有料化に直結するのは、言葉遣いのごまかしか。</p> <p>(3) 職員駐車場の受益者負担は求めないのか。</p> <p>(4) 公（おおやけ）の役割をどう考えるか。</p> <p>(5) 新たに導入するにはは稚拙、拙速ではないか。</p> <p>(6) 市民負担「ありき」ではないか。</p> <p>3. 行革取組方針と公共施設使用料見直し指針について</p> <p>(1) 有料化の効果は10年で1億2,800万円というが、これは市民負担の増加ではないか。</p> <p>(2) 利用する人、しない人の区分けは市民分断ではないか。分断の発想は市が持ち出すべきではないのではないか。</p> <p>(3) 図書館やグリーンピアなどの有料化にも至るのか。</p> <p>(4) 郊外の市民会館駐車場の有料化は他に例がなく、先を走るのか。</p> <p>4. 他の政策の整合性について</p> <p>(1) 目先の有料化にとらわれて失うものはないか。</p> <p>(2) 子育て支援の一部無料化との矛盾を感じるが、どうクリアしていくのか。</p> <p>(3) 岩沼市民の文化活動、社会活動、生涯学習、スポーツ振興などに悪影響が出るという懸念はないのか。</p> <p>(4) 都市間競争、まちづくりのイメージに影響はないか。</p> <p>(5) 岩沼で暮らす価値を低下させる心配はないか。寂れるまち、住みたくないまちという風評は怖くないか。</p>	市 長 教育長
5	10	渡 辺 ふさ子	<p><u>市民会館駐車場有料化について</u></p> <p>1. 南東北病院との関係について</p> <p>(1) 令和5年9月議会の市政報告において「社会医療法人将道会から、将来の新しい病棟の建設用地として市民会館駐車場敷地を取得したい旨の要請をいただきました。本要請については、市民会館の在り方や地域医療体制の充実等の様々な観点から、利用者、市民の皆様が納得いただけるよ</p>	市 長 教育長

<p>(続)</p>	<p>10</p>	<p>渡 辺 ふさ子</p>	<p>う慎重に検討してまいりたいと考えております。」と報告していた。様々な観点をどのように検討したのか、経過を伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に対し、令和3年から北側駐車場に発熱外来を設置し、対応していただいた。今後もパンデミックは起こりうる。引き続き協力体制を築いていけるのか伺う。</p> <p>(3) 岩沼市が誘致した経緯もあり、二次救急や平日夜間初期救急も担っていただいている。これまでも20台分の駐車場敷地を無料で提供してきたとの説明もあった。説明会で南東北病院との話し合いの経過について質問したが、「タイムズ24株式会社と病院との協議になっています」としか回答がなかった。民間事業者任せでいいのか。</p> <p>2. 財政について</p> <p>(1) 令和元年度から4年度までの各年度において市民会館駐車場そのものの管理運営にかかった経費（物件費、消耗品、人件費など）を伺う。</p> <p>(2) ゲート式駐車場にすることで、5年間の契約をする事業者は初期費用が1,200万円、年間維持費は2,900万円と回答している。それを賄うのが利用料である。子育て世代であれ年金暮らしの高齢者であれ、大変な金額が利用者に課せられることになる。多くの団体のみなさんから「駐車料金を払ってまで参加者に来てもらえるか」「大会があれば3時間では終わらない。スポーツをする人がだんだん離れていくのではないか。交通の便もよく周辺自治体からも集まりやすく利用してきたが今後は考えなければ」など様々に危惧する声があった。こんなに経費のかかる有料化は市の無駄を省く方針に逆行するのではないか。</p> <p>(3) 市は駐車場の貸付料として月額106万7千円、年間1280万4千円の歳入になるとしている。令和6年度一般会計当初予算「193億8,700万円」の0.066%である。文化的・健康的な活動をサポートする観点や子育て支援も踏まえ、費用対効果をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(4) 市民サービスとして公共施設があり、維持費はかかるものだ。利用する人としらない人の公平性が問題視されるが、利用者は利用料を負担しており、公平性は保たれているのではないか。</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	-----------	----------------	--	-------------------

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>3. 有料化の目的について「目的外利用を防ぎたいのか、金を取りたいのか」の質問に目的外利用を防ぐためと回答している。目的外利用に対する方策はこれまで重ねた苦労の上に方向性が見えるのではないか。</p> <p>(1) 大型車の夜間利用については夜間の駐車場封鎖で対応できるのではないか。</p> <p>(2) 放置車両はこれまでの取組で解決してきており、現在は1台と聞いている。今後とも警察との連携で対応できるのではないか。</p> <p>(3) 目的外利用については車に駐車禁止警告カードをはさむとか、駐車場に「無断駐車禁止・罰金」などの看板を見えやすい場所に掲示し、毅然とした態度を表明することで、駐車しにくい状況をつくれるのではないか。</p> <p>4. 市民会館駐車場の有料化は利用者の理解が得られていない。市民にも説明がされていない。有料化は市民活動の足かせであって、デメリットが多く全く賛成できない。やはり撤回すべきと考えるが、いかがか。</p>	市長 教育長
			<p><b>市長の政治姿勢について</b></p> <p>1. 岩沼市行政改革取組方針について 今後の行政改革の道筋について、市民目線での徹底した行政改革を推進すると示されているが、市民目線をどのように確認してきたのか伺う。</p> <p>2. こども・子育て支援プロジェクトについては、保育料の第2子からの無料化や私の質問でも取り上げてきた、保育所の3歳以上児の米飯給食の無料提供など、前進面は評価したい。しかしながら、高齢者福祉事業や公共施設使用料の見直し、住宅リフォーム助成事業などの補助金のカット、夢あこがれ事業の取り止め、コミュニティ放送センターの廃止などが相次いで提案されている。しかも、国保料の値上げ、介護保険料の値上げも提案されている。物価高で苦しむ市民の生活を顧みない方針はいかがなものか。もっと市民に寄り添った対応が必要ではないか。</p>	市長
6	2	西塚 秀市	<p><b>能登半島地震支援について</b></p> <p>1. 岩沼市としての支援状況について伺う。</p> <p>2. 岩沼市として今後の支援について</p> <p>(1) 職員の派遣について伺う。</p>	市長

(続)	2	西塚秀市	(2) 支援物資の供給について伺う。 (3) 岩沼市独自での支援を考えているのか伺う。	
			<u>市民会館、中央公民館駐車場の管理について</u> 1. 運営事業者と貸付物件について (1) 業者との契約内容について伺う (2) 駐車場利用の適正管理についての市民説明会の内容について、また、説明会は何回行ったのか伺う。 (3) 料金設定と減免対象者について ① 料金設定はどのようになるのか。 ② 減免対象者料金の設定について伺う。	市長 教育長
			<u>子育て支援について</u> 1. 現在の利用者負担額（保育料）については市町村民税所得割額により利用者負担額が決められており、第1子は基準額、第2子は基準額の2分の1を乗じて得た額、第3子以降は0円となっている。 (1) 保育料の第2子以降無償化を中心とする子育て支援について、以下の点について伺う。 ① 現在の利用者負担額と今後の利用者負担額について伺う。 ② 子育てしやすい環境をつくるため、第1子から利用者負担額の減免を行ってはどうか、見解を伺う。 ③ 18歳未満の子供の増加につながる施策についてどのような考えを持っているのか伺う。	市長
7	11	佐藤一郎	<u>仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書の進捗状況について</u> 1. 県道岩沼蔵王線を延伸し県道塩釜亘理線への避難道路とする要望について 1月20日に行われた市の防災講演会で、東北大学の栗山進一所長は30年以内に99パーセントの確率で宮城県沖地震クラスの地震が発生すると言及していた。 (1) 県道岩沼蔵王線を延伸し、県道塩釜亘理線への避難道路とする要望について、5年2月定例会で「令和4年12月の県道岩沼蔵王線整備促進期成同盟会の要望活動の場で延伸の要望を行っている。」との答弁であったが、同年11月27日の要望項目にはなかった。その後、県との折衝はどのようになったのか伺う。 (2) 避難道路は名取市域を経由するが、どのような	市長

(続)	1 1	佐藤 一郎	<p>協議が行われているのか伺う。</p> <p>(3) 今後、避難道路は早期に建設しなければならないと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 矢野目西地区の開発の進捗状況について</p> <p>(1) 矢野目西地区土地区画整理事業において販売が完了していない2区画について、進捗状況はどのようなになっているのか伺う。</p> <p>(2) 課題となっている事項はあるか伺う。</p> <p>(3) 南側の未造成部分について、今後、市はどのような取組を考えているのか伺う。</p> <p>3. 仙台空港フロンティアパーク内の賑わい創出拠点(仮称空の駅)整備の進捗状況について</p> <p>(1) 令和5年6月の議員全員協議会において、検討委員会の経過についての説明があったが、現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 施政方針では、運営事業者について今年度中の公募を目指しているとあったが、今後のスケジュールはどのようなになるのか伺う。</p> <p>(3) 運営事業者決定のめどはいつ頃になるのか伺う。</p>	市長
8	9	布田 恵美	<p><b>防災について</b></p> <p>今年元日発災の「令和6年能登半島地震」後、現地では厳しい復旧活動が続く中にある。私たちも13年前の東日本大震災の被災経験から備えを行っているつもりではあるが、常に現状と照らし合わせ、対策や対応についてアップデートしていかなければならない。特に、助かった命を守るために水や食料の備えと共に、減災の点からトイレ問題もしっかりと考えておかなければならないと言える。</p> <p>内閣府も、「質の向上」は贅沢ではなく、人間らしい生活を送ることができることを目指すことであり、被災者の支援においてはあらゆる対策を取ることが必要であることを示している。紛争の影響を受けた人々たちへの支援で見られた課題解決活動を発端に作成された「スフィア基準」においては、「被災者は尊厳ある生活を営む権利があり、援助を受ける権利がある」という基本理念が示されている。</p> <p>現在の日本の避難所で、トイレの状態が不衛生な状態や女性が暴力を受ける状況が見られることは、被災者の尊厳ある生活が脅かされていることを示している。</p>	市長



<p>(続)</p>	<p>9</p>	<p>布 田 恵 美</p>	<p>1. 備蓄品対策について</p> <p>(1) トイレについて</p> <p>現在、被災地に入って支援活動をされる方から、様々な衛生課題を聞く。高齢化率も高くなる中、被災された方々が健康状態を保つためにもトイレ対策は欠かせぬことである。</p> <p>① 避難所設置の際のトイレ対策はどうなっているのか。</p> <p>② トイレ設置数は、「男性と女性の割合は1対3」というスフィア基準があるが、その基準を満たしているのか。</p> <p>③ 給排水設備が損傷している場合、水洗トイレを使うことが困難になるが、その備えとして携帯トイレが有用と聞く。避難所での備蓄はどうなっているのか。</p> <p>④ 災害時のマンホールトイレの設置対応はどのように進んでいるのか。また市民への周知状況を伺う。</p> <p>(2) サニタリー用品の備蓄について</p> <p>避難所備蓄品の中に女性用生理ナプキンの備蓄は確認しているが、次の点について伺う。</p> <p>① 男性用尿漏れパットなどの備蓄状況を伺う。</p> <p>② 男性用トイレ内にもサニタリーボックス設置は欠かせないと考えるが、設置状況を伺う。</p> <p>2. 外国人消防団員について</p> <p>総務省消防庁は令和6年度中に、外国人の消防団員が活動できる範囲を整理し、通知として自治体に示すとしている。市として、現状と今後の在り方についてどのように対応していくのか伺う。</p> <p>(1) 現在、条例では280名の消防団員中、男性262名、女性5名、合計267名の構成(令和5年10月1日現在)となっている。外国籍の団員は在籍しているのか。</p> <p>(2) 外国籍の方からの入団問合せなどは、これまでにあったのか。</p> <p>(3) 1月末現在、市内には507世帯643名の外国籍の方が在住している。岩沼で働き、暮らす方が増えている多文化共生社会が進む現状において、災害に対する備えとしても外国人団員も共に活動できるような体制の構築が必要なのではないか、見解を伺う</p>	<p>市 長</p>
------------	----------	----------------	---	------------

9	13	飯塚悦男	<p><b>地場産業の振興について</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年4月1日から施行した岩沼市中小企業・小規模企業振興基本条例を地場産業の振興にどう生かしていくのか、市長の考えを伺う。</li> <li>2. 企業の技術力、営業力向上のため、特許権、実用新案権、商標権等の知的財産権の取得に対し、補助金を交付する制度を設けるべきと考えるが、市長の考えを伺う。</li> <li>3. 創業・起業支援について、市長の考えを伺う。</li> <li>4. 農業の6次産業化について、市長の考えを伺う。</li> <li>5. 改正食品衛生法が令和3年6月1日に施行されたが、経過措置期間の終了が令和6年5月31日に迫っており、これまで県の条例による登録だけでよかったつけもの加工業等にも現行の食品衛生法に基づく新規の許可の取得又は届出が必要になった。また、製造、加工、販売、貯蔵等を行う施設は保健所への届出が必要となる。この食品衛生法改正について市長の見解を伺う。</li> </ol>	市長
10	4	高梨明美	<p><b>障害者支援の充実について</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヘルプカード、ヘルプマーク、ヘルプシールについて       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 配布状況を伺う。</li> <li>(2) 日常生活や災害時に周囲に理解をしてほしいことや支援を求めていることを円滑に伝えるための支援ツールとして「ヘルプシール」を配布してはどうか。</li> </ol> </li> <li>2. 発達障害支援について       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 就学前に発達障害の特性に気づき、適切な支援や療育につなげることができれば、多くの子どもたちが通常学級でも問題なく学べるようになる。発達障害が認められる子や可能性が疑われる子への現在の支援体制を伺う。</li> <li>(2) 国は発達障害などを早く発見し、安心して就学（小学校入学）につなげることを目指す「5歳児健診」について、令和5年度から市町村に対し、健診費用への補助事業を開始した。           <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国の補助事業に対する市の見解を伺う。</li> <li>② 5歳児健診を実施してはどうか伺う。</li> <li>③ 5歳児の発達相談について、5歳児のいる全家庭にチェックシートを配布し、希望する保護者の相談を実施してはどうか伺う。</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>	市長

(続)	4	高梨明美	<p>④ 厚労省の調査によると、0歳から19歳までに発達障害と診断された人は約23万人、20歳以降に診断された人は約24万人に上る。こうした人たちが一人で悩まぬよう「心のサポーター養成事業」を導入してはどうか伺う。</p>	市長
			<p><b>がん対策について</b></p> <p>1. 子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンについて、国は接種を促す積極的勧奨を2022年度から再開した。</p> <p>(1) 積極的勧奨再開後の接種状況について市の見解を伺う。</p> <p>(2) 国は、ワクチン接種勧奨の停止で接種を逃した女性にも無料で接種できる「キャッチアップ接種」を実施している。これまでキャッチアップ接種対象者に対して市としてどのように周知してきたのか伺う。</p> <p>(3) キャッチアップ接種対象者が無料で接種できる期限は来年3月末となっている。ワクチンは、合計2回または3回接種することとなるが、原則6か月の接種間隔が必要となるため、期限内に接種を完了するには今年9月までに1回目を打たなければ間に合わない。「知らなかったから接種できなかった」ということがないように、理解促進と周知が必要と考えるがどうか伺う。</p> <p>(4) 子宮頸がんから命を守るためには、HPVワクチンによる感染予防と併せて、20歳からの定期的な検診による早期発見・治療が重要である。検診を受診するきっかけづくりとして、HPV感染の有無を自宅で検査できる簡易キットを配布してはどうか伺う。</p> <p>2. アピアランスケアの支援について</p> <p>がんの治療では、化学療法による脱毛や肌の変色、爪の変化、手術による傷、放射線治療による皮膚炎など、様々な外見の変化を体験することがある。がん対策推進協議会の調査では、がん患者への外見をケアする理由として、「自分の姿に違和感」、「他人の目が気になる」、「就労、就学を続ける上で必要」などが挙げられている。がんやがん治療による外見の変化は、美しさの問題ではなく、自分らしさと社会の中で今までどおりに過ごせるかということが問題であり、乳房補正具、ウィッグ購入補助</p>	市長

(続)	4	高梨明美	<p>は、本人のつらさや不安の軽減、経済的負担軽減につながると考える。</p> <p>本市では、ウィッグの購入費助成が行われているが、乳がんで全摘手術をした方のための補正下着の購入費についても助成すべきと考えるがどうか伺う。</p>	市長
11	6	佐藤剛太	<p><b>シティプロモーションについて</b></p> <p>1. シティプロモーションの目的を伺う。</p> <p>2. 1年間シティプロモーションを行い、成果はどのようなものか伺う。</p> <p>3. 令和6年度はターゲットを明確にした効果的で印象に残る情報発信としているが、どのようなものか伺う。</p>	市長
			<p><b>新たな住宅地の整備について</b></p> <p>1. 本市の総合計画の将来人口において本市は人口減少社会の中でも人口増を図り、令和15年の目標人口を45,000人と設定しており、目標人口を実現させるためには、定住者が生活できるための新たな住宅用地の整備が必要である。今後の取組や見解を市内エリア別に伺う。</p> <p>(1) 玉浦地区</p> <p>① 既存の市街化区域（三軒茶屋・林）の整備について伺う。</p> <p>② 民間住宅開発が行われようとしている面積を伺う。</p> <p>③ おおよそ何軒位の住宅が建設されると考えているのか伺う。</p> <p>④ 新たに市街化調整区域から市街化区域に編入を検討している場所はあるのか伺う。</p> <p>(2) 中央部</p> <p>① 総合計画には、岩沼駅周辺においては高度利用を促進するとあるが、今後の岩沼駅周辺の整備について、どのように考えるのか見解を伺う。</p> <p>(3) 西部地区</p> <p>① 次回の仙塩広域都市計画の時期はいつになるのか伺う。</p> <p>② 新たな子育て世代を他自治体から取り込むために、駅から徒歩圏内の場所を新たに市街化区域に編入して宅地造成をすべきではないか伺う。</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>6</p>	<p>佐藤 剛太</p>	<p>③ 亀塚地区・栄町地区の一部は、以前宅地造成の調査を行ったが治水などの問題で開発を見送った経緯がある。人口増加を効果的に進める土地として相応しいと考えるが、見解を伺う。</p> <p>④ 北長谷地区には今後ショッピングセンターが建設・開店し、周辺で生活の利便性が向上する。近隣には小学校・保育園・児童館・コミュニティセンターなど子育てにはとても素晴らしい環境となっている。人口増加を効果的に進めるには住宅環境として非常によい環境だと考えるが、見解を伺う</p>	<p>市長</p>
			<p><b>子育て環境について</b></p> <p>1. 令和5年度に組織改編（令和4年度実施）を行ったが、子育て支援などを担当する健康福祉部において、昨年の組織改編では大きな改編は実施されていない。今後健康福祉部において改編を実施するのか伺う。</p> <p>2. 本市は、仙台市近郊の自治体で初めて令和6年度より第2子以降の保育料の免除を行うが、現在約130名の隠れ待機児童がいると報告を受けた。令和6年4月には、何名減少するのか。また、今後、隠れ待機児童に対する取組があれば見解を伺う。</p> <p>3. 本市において保育士の確保のために、市内子育て施設などで働く保育士に向けた支援を行っているのか伺う。</p> <p>4. 各自治体にこども家庭センターが整備されるが、本市の取組状況を伺う。</p> <p>5. 子育て世代の定住者の確保のため、駅周辺の市営住宅を子育て支援住宅としてリノベーションして活用すべきではないかと思うが、見解を伺う。</p> <p>6. 玉浦地区（恵み野・林・三軒茶屋）は子育て世代が増加しており、岩沼駅まで通学するためにバスなどを増便するなど利便性を向上させることが、今後のさらなる増加につながるのではないかと伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>12</p>	<p>1</p>	<p>岡田 みつえ</p>	<p><b>岩沼市総合計画（案）について</b></p> <p>1. 岩沼市が目指す将来像について</p> <p>(1) 第2編基本構想第2章・岩沼市が目指す将来像で「ひとが集い 輝くまち いわぬま」とある。</p> <p>① 「まちづくりの方向性」及び「将来像」の実現に向けて、まちづくりの4つの柱はどれも欠かせないものだと考えるが、中でも本市として</p>	<p>市長</p>

(続)	1	岡田 みつえ	<p>最も重要視していることについて伺う。</p> <p>② 本市は住環境（交通の便・気候等）や子育て世代へのサポート（4月より第2子以降保育料の無償化・保育園での3歳以上児への米飯の提供など）も大変充実している。今までもSNS等で本市の魅力を発信してきたが、今後の更新予定やその頻度について伺う。</p> <p>(2) 第2編基本構想第4章・まちづくりの指標では令和15年(2033年)の目標を人口45,000人と設定している。</p> <p>① 令和5年12月31日現在の本市の人口は43,448人であるが、上記の目標人口に示す10年間で1,000人以上の人口増を達成するために、どのような取組を行っていくのか伺う。</p> <p>② 将来人口の数値では全体像のみで年齢別について触れられていないが、具体的にどの世代の人口増が本市の理想なのか伺う。</p> <p>③ 令和4年度の市民満足度調査における「岩沼を住みよいまちと思っている市民の割合」が90.1%、「住み続けたいと思っている市民の割合」が82.5%と高い数値にあり、非常に良いことと感じている。今後もこの高い水準を継続していくには、移住してくる方たちはもちろん、今住んでいる若者の流出も防いでいくことが大切と思うが、本市として流出を防ぐ施策をどのように考えているのか伺う。</p>	市長
13	5	植田 美枝子	<p><b>岩沼市行政改革取組方針について</b></p> <p>1. 行政改革の取組について</p> <p>(1) 2月2日の議員全員協議会で示された岩沼市行政改革取組方針(案)は、多面にわたった改革内容となっているが、見本とした自治体はあるのか伺う。</p> <p>(2) 上記方針においては、これまでに実施した取組30件、現在実施している取組13件、今後実施予定の取組17件、実施を検討している取組15件を提示しているが、これだけ細やかな改革に職員の反発はなかったのか伺う。</p> <p>(3) 改革や見直しの結果を精査して、また新たに見直していくという考えはあるのか伺う。</p> <p>(4) 定例会の時だけでなく、毎月5分でも10分でもいいので市のホームページに市長の行政報</p>	市長 教育長

(続)	5	植 田 美枝子	<p>告の動画を載せてはどうか伺う。</p> <p>2. 当市の財政について</p> <p>(1) 当市の単年度赤字は何年続いているのか伺う。</p> <p>(2) 単年赤字が続いていくとどのような影響が生じると考えているのか伺う。</p> <p>(3) 単年赤字の要因をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>3. 給食費の無償化について、他の市町村では給食費の無償化を実施できているが、どうして岩沼では給食費の無償化を実現できないのか伺う。</p> <p>4. 市民会館駐車場の有料化について</p> <p>(1) 市民会館駐車場の有料化について、市民に全く方針が伝わっていないのではないかと思うがどうか伺う。</p> <p>(2) 市民会館駐車場の有料化について、あまりに説明不足と思うがどうか。決定ではなく検討の余地はないのか伺う。</p> <p>5. 当市の将来について</p> <p>(1) 市民が抱えている将来への不安を年代別に把握するため、アンケートをとってはどうか伺う。</p> <p>(2) 改革の先にある姿をもっと具体的に示すべきと思うがどうか伺う。</p>	市 長 教育長
-----	---	---------	---	------------